

Windows® 8.1 Pro

インストール補足説明書

Express5800/55Xa,Y55Xa

本書は Windows 8.1 Pro (64 ビット版) 専用です。

Microsoft、Windows、Active Directory、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、TM、® は必ずしも明記しておりません。本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。**無断転載を禁じます。** 本書または本書に記述されている製品や技術に関して、日本電気株式会社またはその関連会社が行う保証については、当該製品または技術の提供に適用されるライセンス契約が適用されます。

最新版

本書は作成日時点の情報をもとに作成されており、画面イメージ、メッセージ、または手順などが**実際のものとは異なる場合があります**。変更されているときは、適宜読み替えてください。

また、インストール補足説明書をはじめとするドキュメントや情報は、次の Web サイトから最新版をダウンロード、参照することができます。

NEC コーポレートサイト <http://jpn.nec.com/>

本書で使用する表記

本文中で使用するこれらの記号は、次のような意味があります。



ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことについて示しています。記載の手順に従わないときは、ハードウェアの故障、データの損失など、**重大な不具合が起きるおそれがあります**。



ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、確認しておかなければならないことについて示しています。



知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示しています。

「光ディスクドライブ」の表記

本書では、次のドライブを「光ディスクドライブ」と記載しています。

サポートするドライブは、購入されたモデルによって異なります。

1. DVD-ROM ドライブ
2. DVD Super MULTI ドライブ
3. Blu-ray ドライブ

目次

| | |
|--|----|
| 最新版 | 2 |
| 本書で使用する表記..... | 2 |
| 「光ディスクドライブ」の表記..... | 2 |
| 目次 | 3 |
| 1. はじめに..... | 5 |
| 1.1 対象モデル | 5 |
| 1.2 インストール可能な Windows OS | 5 |
| 1.3 BIOS について | 5 |
| 1.4 サポートするアップグレード パス | 5 |
| 2. 概略..... | 6 |
| 2.1 Windows 8.1 の新規インストール | 6 |
| 2.2 Windows 8 から Windows 8.1 へのアップデート | 7 |
| 3. インストール前の準備 | 8 |
| 3.1 インストールに必要なもの | 8 |
| 3.2 サポートしている大容量記憶装置コントローラー..... | 8 |
| 3.3 差分モジュール(Starter Pack)のダウンロード | 9 |
| 4. インストール前の確認事項..... | 11 |
| 5. Windows 8.1 の新規インストール | 17 |
| 6. Windows 8 から Windows 8.1 へのアップデート | 24 |
| 6.1 アップデートの準備..... | 24 |
| 6.1.1 アプリケーション | 24 |
| 6.1.2 オプション グラフィックスアクセラレータドライバ | 24 |
| 6.2 Windows 8 から Windows 8.1 へのアップデート手順..... | 25 |
| 6.3 Starter Pack 適用前の準備..... | 26 |
| 6.3.1 MEI ドライバー（バージョン 8.1.10.1275） | 26 |
| 6.3.2 オプション グラフィックスアクセラレータドライバ | 26 |
| 6.3.3 サウンドドライバ（バージョン 6.0.1.6675） | 27 |
| 7. Starter Pack の適用 | 28 |
| 8. デバイスドライバーのセットアップ | 31 |
| 8.1 LAN ドライバーのインストール | 31 |
| 8.1.1 LAN ドライバーについて | 31 |
| 8.1.2 オプションの LAN ボード..... | 31 |
| 8.1.3 ネットワークアダプター名 | 31 |

| | | |
|-------|--------------------------------|----|
| 8.2 | LAN ドライバーのセットアップ | 32 |
| 8.2.1 | リンク速度の設定 | 32 |
| 8.2.2 | Wake On LAN の設定 | 32 |
| 8.3 | オプション グラフィックスアクセラレータドライバ | 33 |
| 8.4 | サウンドドライバ | 33 |
| 9. | ライセンス認証の手続き | 34 |
| 10. | 障害処理のためのセットアップ | 36 |
| 10.1 | メモリダンプ(デバッグ情報)の設定 | 36 |
| 10.2 | ユーザーモードプロセスダンプの取得方法 | 42 |
| 11. | Windows システムの修復 | 43 |
| 12. | トラブルシューティング | 43 |
| 13. | Windows イベントログ一覧 | 44 |

1. はじめに

本手順書は、Express5800 シリーズで使用するオペレーティングシステムをインストールする方法について説明しています。

Windows 8.1 Pro をセットアップする前に、必ず最後までお読みください。

1.1 対象モデル

本手順書は、次のモデルをサポートしています。

| モデル名 | Express5800/55Xa,Y55Xa |
|------|------------------------|
|------|------------------------|

1.2 インストール可能な Windows OS

以下の Windows OS(エディション)をサポートしています。エディションは 64 ビット版のみです。

| 本書の表記 | Windows OS の名称 |
|-------------|-----------------|
| Windows 8.1 | Windows 8.1 Pro |

1.3 BIOS について

レガシーBIOS モードへのインストールはサポートしていません。

1.4 サポートするアップグレード パス

本機でサポートするアップグレード パスは以下になります。エディションは 64 ビット版のみです。

| アップグレード前 | アップグレード後 |
|-----------------------|-------------------------|
| Windows 8 Pro 64 ビット版 | Windows 8.1 Pro 64 ビット版 |



以降本書では、Windows 8 から Windows 8.1 へのアップグレードを「アップデート」と表記します。

2. 概略

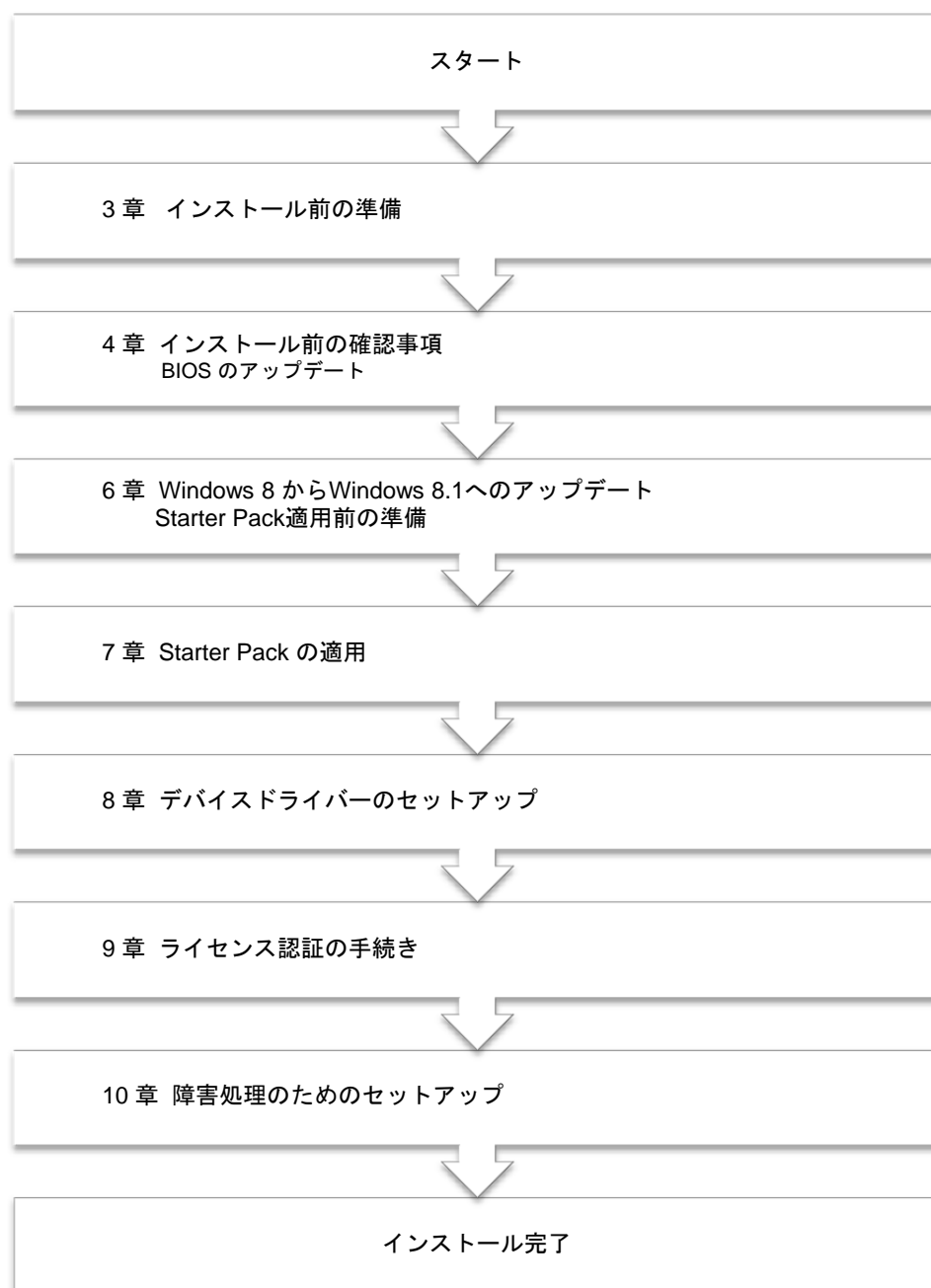
次の図を参考にインストールを実施してください。

2.1 Windows 8.1 の新規インストール



OS インストール完了後、各種アプリケーションのインストールが必要な場合はそれぞれのインストールガイド(手順書)などを参照し、インストールを行ってください。

2.2 Windows 8 から Windows 8.1 へのアップデート



OS アップデート完了後、各種アプリケーションのインストールが必要な場合はそれぞれのインストールガイド(手順書)などを参照し、インストールを行ってください。

3. インストール前の準備

Windows 8.1 のインストールを開始する前に、ハードディスク環境 (ディスクアレイのコンフィグレーション情報など) を、装置に添付の EXPRESSBUILDER からドキュメント(ユーザーズガイドなど)を参照のうえ、確認してください。

3.1 インストールに必要なもの

次のモジュールと手順書がそろっていることを確認してください。

- **Windows 8.1 Pro 対応 差分モジュール** (以降、「Starter Pack」と呼ぶ)

| | |
|----------|------------------------|
| 差分モジュール名 | Win81.50-002.01.zip |
| 対象モデル | Express5800/55Xa,Y55Xa |

- **Microsoft 社製 OS インストールメディア** (以降、「Windows 8.1 DVD-ROM」と呼ぶ)

※ Windows 8 から Windows 8.1 にアップデートするときは、OS インストールメディアは不要です。Windows ストアからアップデートします。

- **Windows 8.1 Pro インストール補足説明書** (本書)

- **Express5800 シリーズをお買い上げのときに添付されているもの**

- **EXPRESSBUILDER DVD** (以降、「EXPRESSBUILDER」と呼ぶ)



Windows 8.1 をインストールした後に、添付の EXPRESSBUILDER や弊社 Web サイトで公開している Windows 8 向けの Starter Pack (EXPRESSBUILDER version 7.50-002.0x) を適用しないでください。Windows 8 向けの Starter Pack は、Windows 8.1 ではご使用になれません。必ず、ご購入された装置に対応した Windows 8.1 向けの Starter Pack をご使用ください。



- Starter Pack は、「3.3 差分モジュール(Starter Pack)のダウンロード」を参照してください。Starter Pack を DVD などにコピーする場合は必要なメディアをご用意ください。
- ドキュメントは、EXPRESSBUILDER に収められています。EXPRESSBUILDER のメニュー画面から「→説明書」を参照してください。

3.2 サポートしている大容量記憶装置コントローラー

本サポートキットでは大容量記憶装置コントローラーをサポートしておりません。

3.3 差分モジュール(Starter Pack)のダウンロード

あらかじめ、本機対応の差分モジュール(Starter Pack)をダウンロードしてください。

1. 差分モジュール(Starter Pack)を、ダウンロードします。

- ① NEC コーポレートサイト(<http://jpn.nec.com/>)から、
[サポート・ダウンロード]—[> ドライバ・ソフトウェア]をクリックします。



- ② [ドライバ・ソフトウェア]から[法人向け製品]—[・ワークステーション(Express5800シリーズ)]をクリックします。



- ③ [ダウンロード]ページから[■ 50 シリーズ]—[OS 関連]をクリックします。



- ④ 検索画面から[Windows 8.1]を検索します。

サポート情報 [ワークステーション] Express5800

ダウンロード

■50シリーズ OS関連 検索結果(1~10件目/45件) 10件表示 ▼

| | |
|-------|----------|
| ■モデル名 | 全てを選択 ▼ |
| ■OS | すべてを選択 ▼ |

結果を絞り込む

- ⑤ [Windows 8.1 サポート情報]から該当するモデルのサポートキットを参照し、モジュールを入手します。



Windows 8 向けの Starter Pack は、使用できません。
必ず Windows 8.1 サポート情報を参照してください。

2. ダウンロード後、ハードディスク上の任意のフォルダー(例：C:¥TEMP)に解凍します。
解凍先のフォルダーには、2バイト文字や空白文字(スペース)を含むフォルダーは指定できません。



フォルダーの階層が深すぎるとセットアッププログラムの解凍が正しく実行されないことがあります。

DVD などにコピーする場合は、解凍したファイル・フォルダー構造のままコピーします。



DVD をご使用の場合は、Windows でアクセスできる形式(OS 標準機能など)で書き込みしてください。

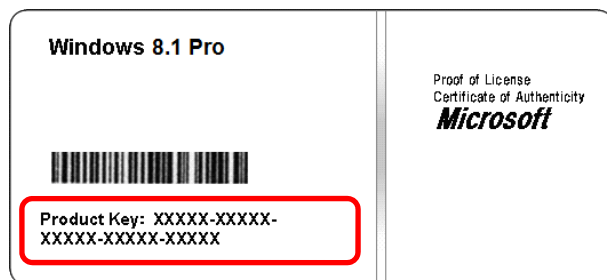
3. モジュールのコピーが完了したら、ハードディスクドライブ上へ解凍したファイル・フォルダーはすべて削除してください。

4. インストール前の確認事項

インストールを始める前に、ここで説明する注意事項について確認しておいてください。

ライセンス認証の手続き

Windows 8.1 のライセンス認証を行う際に使用するプロダクトキーは、COA(Certificate of Authenticity) ラベルに記載されたプロダクトキーと一致させる必要があります。Windows 8.1 の COA ラベルは購入された OS インストールメディアのパッケージに貼付されています。「9 ライセンス認証の手続き」を参照し確認してください。



Starter Pack の適用

Starter Pack は Express5800 シリーズに必要なドライバーを適用します。
必ず Starter Pack を適用してください。

BIOS のアップデート

Windows 8.1 をインストールするために、BIOS のアップデートが必要な場合があります。BIOS のアップデートが必要かどうかは、『NEC コーポレートサイト』 — [サポート情報 [ワークステーション]] <http://support.express.nec.co.jp/workstation/> から、対応モジュールの有無を確認しておいてください。

また、アップデート手順に関しては、各装置の BIOS ダウンロード時の紹介文、およびダウンロードデータに含まれる「Readme.txt」などを参照してください。

BIOS の設定

ブートモードを UEFI モードに設定してください。
[BOOT] - [Boot Mode] - [UEFI]

注意すべきハードウェア構成

次のようなハードウェア構成においては特殊な手順が必要となります。

論理ドライブが複数存在するときのセットアップ

Windows 8.1 をインストールするとき、パーティション作成画面に表示されるディスクの順番および番号は、本機のスロット位置と一致しないことがあります。

インストール先は、表示される**ハードディスクドライブの容量やパーティションのサイズで判別してください**。ハードディスクドライブの選択を誤った場合、意図せず既存のデータを削除する可能性があります。



詳細については次の Microsoft 社の Web サイトを参照してください。

<http://support.microsoft.com/kb/937251/ja>

ミラー化されているボリュームへの再インストール

Windows で作成したミラーボリュームにインストールするときは、いったんミラーボリュームを無効にしてベーシックディスクに戻し、インストール完了後に再度ミラー化してください。ミラーボリュームの作成、解除、および削除は、[ディスクの管理]を使います。

RDX/MO などの周辺機器

インストール時、RDX/MO 装置は取り外してください。その他、周辺機器によっては休止状態にする必要があります。それぞれの周辺機器の説明書を参照し、適切な状態にしてからセットアップしてください。

DAT または LTO などのメディア

インストール時、DAT または LTO などのメディアはセットしないでください。

大容量メモリ搭載時のセットアップ

大容量のメモリを搭載すると、インストールのときに必要なページングファイルサイズが大きくなり、デバッグ情報(ダンプファイル)採取のためのパーティションサイズが確保できないことがあります。ダンプファイルサイズを確保できないときは、新規インストールを実施し、次のようにダンプファイルの保存先を別のハードディスクドライブに割り当ててください。

1. Windows をインストールするパーティションサイズを「OS のサイズ+ ページングファイルのサイズ」に設定する。
2. 「10. 障害処理のためのセットアップ」を参照して、デバッグ情報(ダンプファイルのサイズ)を別のハードディスクドライブに書き込むように設定する。

ダンプファイルを書き込む容量がハードディスクドライブにないときは、「OS のサイズ+ ページングファイルのサイズ」でインストール後、新しいハードディスクドライブを増設してください。



Windows をインストールするパーティションのサイズが「OS のサイズ+ ページングファイルのサイズ」より小さいときは、パーティションサイズを大きくするか、ディスクを増設してください。

ページングファイルを確保できないときは、新規インストール後に、以下のいずれかを設定してください。

ーメモリダンプの採取に使用するページングファイルをシステムドライブ以外のドライブに設定する

システムドライブ以外のドライブに搭載メモリサイズ+400MB 以上のページングファイルを作成します。

ドライブ文字 C、D、E …の順に、最初に存在したページングファイルが、メモリダンプを採取するために一時的に使用されます。そのため、最初に存在するページングファイルのサイズは、搭載メモリサイズ+400MB 以上に設定してください。ダイナミックボリュームのページングファイルはメモリダンプ採取に使用されません。設定を反映させるには再起動してください。

【 正しい例 】

C : ページングファイルなし

D : 搭載メモリサイズ+400MB 以上のページングファイル

→ D ドライブのページングファイルが搭載メモリサイズ+400MB 以上であるため、D ドライブのページングファイルを使用してメモリダンプを採取できます。

【 誤った例 1 】

C : 搭載メモリサイズ未満のページングファイル

D : 搭載メモリサイズ+400MB 以上のページングファイル

→ C ドライブのページングファイルがメモリダンプ採取に使用されますが、ページングファイルサイズが搭載メモリサイズ未満のためメモリダンプを採取できない場合があります。

【 誤った例 2 】

C : 搭載メモリサイズ×0.5 のページングファイル

D : 搭載メモリサイズ×0.5 のページングファイル

E : 400MB のページングファイル

→ 全ドライブのページングファイルの合計は搭載メモリサイズ+400MB ですが、C ドライブのページングファイルのみメモリダンプ採取に使用されるため、メモリダンプを採取できない場合があります。

【 誤った例 3 】

C : ページングファイルなし

D : 搭載メモリサイズ+400MB 以上のページングファイル

(ダイナミックボリューム)

→ D ドライブはダイナミックボリュームのため、D ドライブのページングファイルがダンプ採取に使用されず、メモリダンプを採取できません。

ーシステムドライブ以外のドライブに Dedicated Dump File を設定する

レジストリエディタにて以下のレジストリーを作成し、Dedicated Dump File のファイル名を設定します。

< D ドライブに「dedicateddumpfile.sys」を設定するときの例>

| | |
|-----|--|
| キー | : HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM ¥CurrentControlSet¥Control¥CrashControl |
| 名前 | : DedicatedDumpFile |
| 種類 | : REG_SZ |
| データ | : D:¥dedicateddumpfile.sys |

Dedicated Dump File については、以下に注意して設定してください。

- レジストリーの編集には十分にご注意ください。
- 設定の反映には再起動が必要です。
- 搭載メモリサイズ+400MB 以上の空き容量のあるドライブを指定してください。
- ダイナミックボリュームに Dedicated Dump File は設定できません。
- Dedicated Dump File はメモリダンプの採取のみに使用され、仮想メモリとして使用されません。システム全体で十分な仮想メモリを確保できるようページングファイルを設定してください。

システムパーティションのサイズ

Windows をインストールするパーティションサイズは、次の計算式から求めることができます。

(OS のサイズ) + (ページングファイルのサイズ) + (ダンプファイルのサイズ) +(パイバネーション用サイズ)+(アプリケーションのサイズ)

| | |
|------------------|--------------------|
| OS のサイズ | = 9,400MB |
| ページングファイルサイズ(推奨) | = 搭載メモリサイズ × 1.5 |
| ダンプファイルサイズ | = 搭載メモリサイズ + 400MB |
| ハイバネーション用のサイズ | = 搭載メモリサイズ × 1.5 |
| アプリケーションサイズ | = 任意 |

例えば、搭載メモリサイズが 2GB(2,048MB)、アプリケーションのサイズが 100MB のとき、パーティションサイズは、

$$9,400\text{MB} + (2,048\text{MB} \times 1.5) + 2,048\text{MB} + 400\text{MB} + (2,048\text{MB} \times 1.5) + 100\text{MB}$$
$$= 18,092\text{MB}$$

になります。

上記の計算方法から算出したサイズは、Windows のインストールに必要な最小限のサイズです。安定した運用のため、パーティションは余裕を持たせてインストールしてください。

20,480MB(20GB)以上のパーティションサイズを確保することを推奨します。

※1GB = 1,024MB



- 上記ページングファイルサイズはデバッグ情報(ダンプファイル)採取のための推奨サイズです。システムパーティションには、ダンプファイルを格納するのに十分な大きさの初期サイズを持つページングファイルが必要です。また、ページングファイルが不足すると仮想メモリ不足により正確なデバッグ情報を採取できないときがあるため、システム全体で十分なページングファイルサイズを設定してください。
- 搭載メモリサイズやデバッグ情報の書き込み(メモリダンプ種別)に関係なく、ダンプファイルサイズの最大は「搭載メモリサイズ+400MB」です。

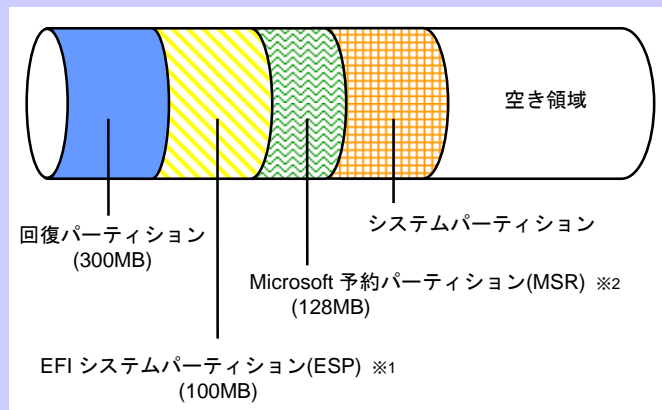
Windows をインストールするパーティションのサイズが推奨サイズより小さい場合は、パーティションサイズを大きくするか、ディスクを増設してください。



新規にパーティションを作成するとき、ハードディスクドライブの先頭に次の3つのパーティションを作成します。

- 回復パーティション : 300MB
- EFI システムパーティション(ESP) : 100MB ※1
- Microsoft 予約パーティション(MSR) : 128MB ※2

例えば、パーティションサイズを 61,440MB(60GB)に指定したとき、使用可能な領域は
 $61,440\text{MB} - (300\text{MB} + 100\text{MB} + 128\text{MB}) = 60,912\text{MB}$
になります。



※1 ハードディスクドライブの種類によって 260MB で作成されることがあります。

※2 [ディスクの管理]には表示されません。

Windows 8.1 Hyper-V のサポート

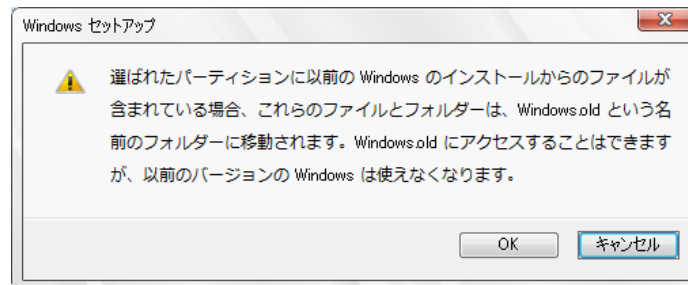
Windows 8.1 Hyper-V のサポートに関連する詳細情報は下記を参照してください。

<http://support.express.nec.co.jp/os/win81/hyper-v.html>

パーティションの流用

Windows 8.1 以外で作成したパーティションに Windows 8.1 をインストールする場合、以下のメッセージが表示されます。

このようなパーティションは流用できませんので新規に作成してください。



BitLocker の利用

BitLocker を使う場合、下記の点に注意してください。

- 回復パスワードは、BitLocker を使用する装置以外の安全な場所に、必ず保存／保管してください。



回復パスワードがない場合、OS を起動させることができなくなり、BitLocker で暗号化したパーティションの内容を二度と参照できなくなります。回復パスワードは、次の作業実施後の OS 起動時に必要となる場合があります。

- マザーボードの交換
- BIOS 設定の変更
- TPM の初期化※

※ ご利用の装置によりサポートしていない場合もあります。ハードウェア関連のドキュメントをご確認ください。

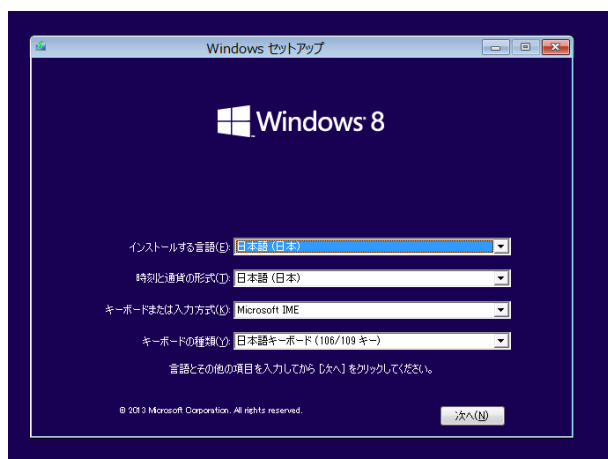
- BitLocker で暗号化したパーティションに OS を再インストールする場合、あらかじめ BitLocker で暗号化したパーティションを削除してください。

5. Windows 8.1 の新規インストール

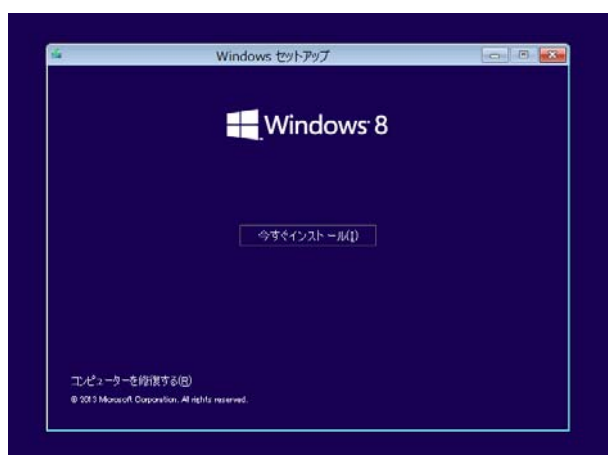


新規インストール前に、「4. インストール前の確認事項」を参照してください。

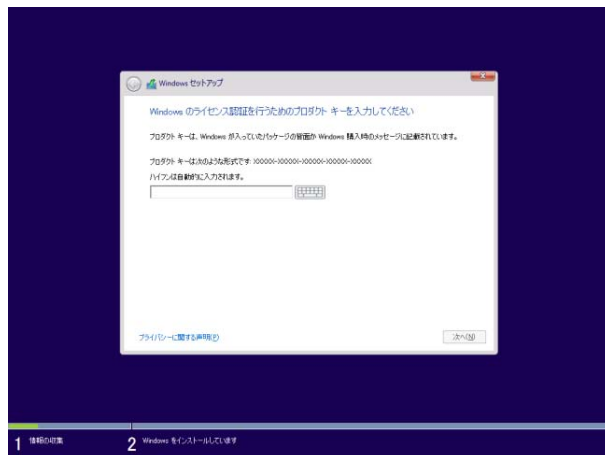
1. ディスプレイ、本機の順に電源を ON にします。
2. OS インストールメディアから起動します。
画面の上部左側に「Press any key to boot from CD or DVD...」が表示されます。
メディアからブートさせるため、<Enter>キーを押してください。
3. 言語とその他の項目を選択し[次へ]をクリックします。この画面が表示されなかったときは、手順 2 で正しく<Enter>キーが押されていません。本機を再起動し、手順 2 から再度実行してください。
ここでは[日本語(日本)]を選択してください。



[今すぐインストール]をクリックします。



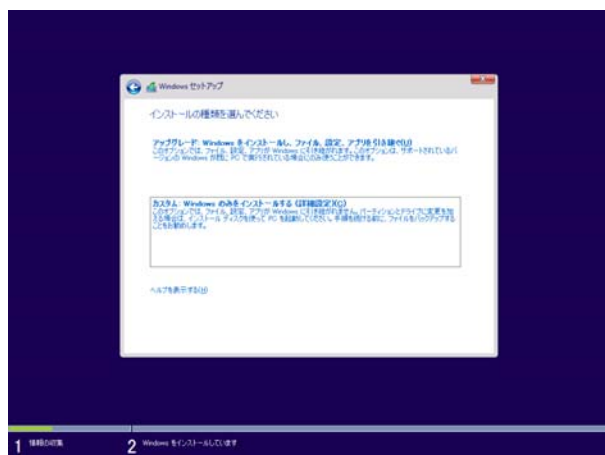
4. プロダクトキーの入力画面が表示されたら、プロダクトキーを入力し[次へ]をクリックします。



5. ライセンス条項の内容を確認します。
同意する場合は[同意します]をチェックし、[次へ]をクリックします。



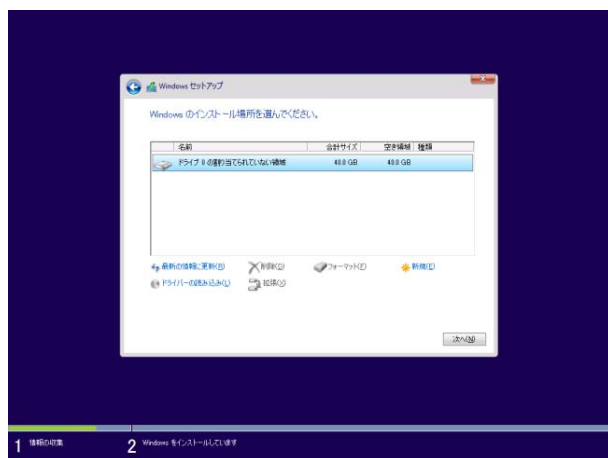
6. インストールの種類を選択します。
ここでは、[カスタム : Windows のみをインストールする(詳細設定)]をクリックします。



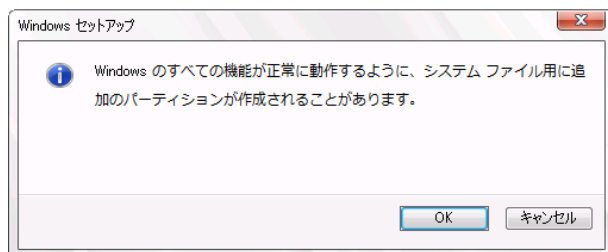
7. [新規]をクリックします。

入力ボックスにパーティションのサイズを入力し、[適用]をクリックします。

パーティションが作成済みの場合は、手順 9 へ進んでください。



以下では、[OK]をクリックしてください。

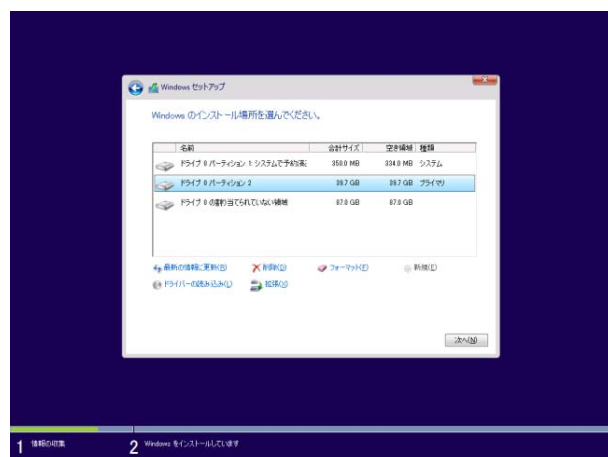


新規でパーティションを作成する場合、ハードディスクの先頭に次の 3 つのパーティションが作成されます。

- 回復パーティション
- EFI システムパーティション(ESP)
- Microsoft 予約パーティション(MSR)

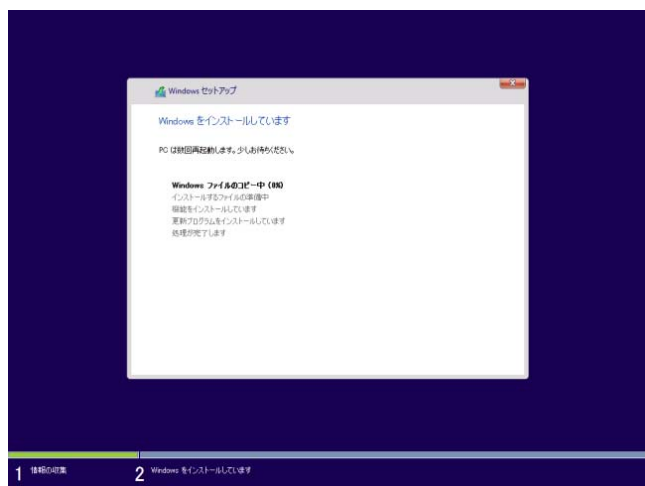
8. 手順 7 で作成したパーティションを選択し、[フォーマット]をクリックします。

9. 作成したパーティションを選択し、[次へ]をクリックします。



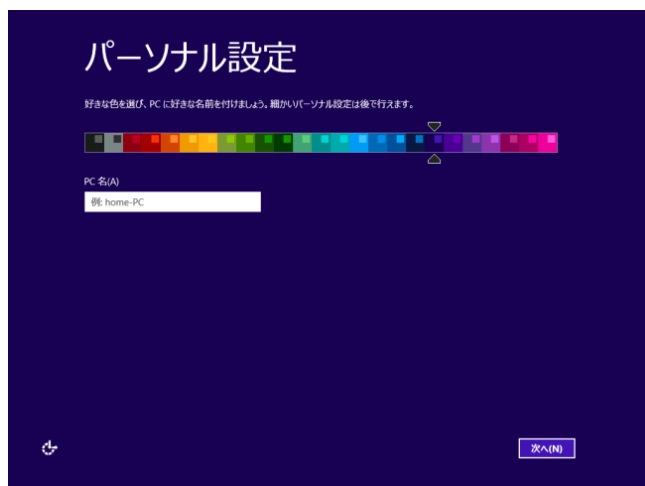
画面に表示されるパーティション数は、ご使用の環境によって異なります。

次のメッセージが表示され、Windows のインストールが始まります。



Windows 8.1 のインストール後、自動的に再起動します。
再起動後、引き続き Windows のセットアップを進めます。

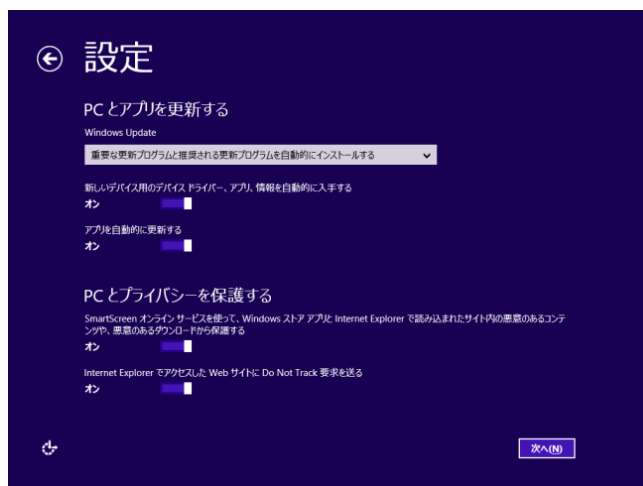
10. パーソナル設定を行い、[次へ]をクリックします。



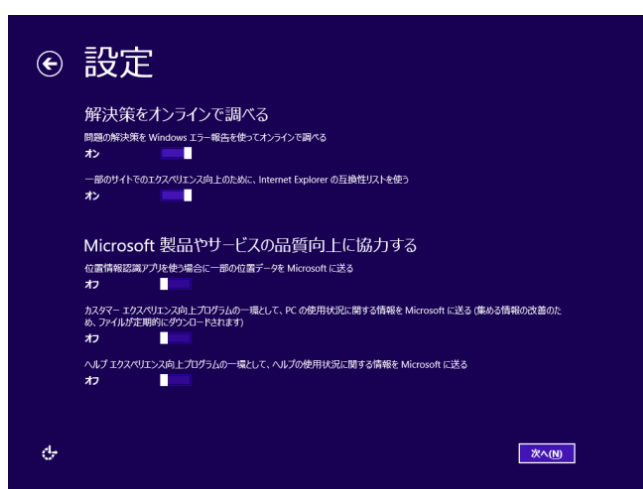
11. 設定内容を確認します。ここでは、[簡単設定を使う]をクリックします。



[自分で設定する]のときは、画面の項目を確認して設定してください。



【[自分で設定する]画面 (1/3)】



【[自分で設定する]画面 (2/3)】



【[自分で設定する]画面 (3/3)】

12. ユーザー名とパスワードを入力し、[完了]をクリックします。

🔍 お使いのアカウント

パスワードを作る場合は、覚えやすく、他人からは推測されにくいものにしましょう。

ユーザー名(U)

パスワード(P)

パスワードの確認入力(C)

パスワードのヒント(H)

🔄 完了(F)

ネットワークに接続しているときは、次の画面が表示されます。
内容を確認し、必要に応じてアカウントを設定してください。

🔍 PC へのサインイン

サインインするには 2 つの方法があります。

Microsoft アカウント

メールアドレスでサインインすると、次のメリットがあります。

- Windows ストアからアプリをダウンロードできます。
- Microsoft アプリのオンラインコンテンツを自動的に入手します。
- プログラマーのお供に入りたての機器、言語、サービスのサインイン情報など、大切な設定をオンラインで同期して、複数の PC で同じ使い心地を実現できます。 (同期する情報は Microsoft に送られますが、この設定は後で変更することができます。)

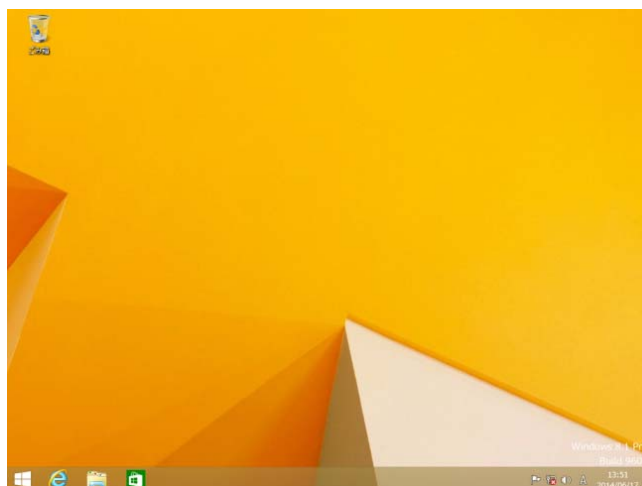
ローカル アカウント

ローカル アカウントでサインインすると、次のようになります。

- お使いの PC ごとにユーザー名とアカウントを作る必要があります。
- アプリをダウンロードするには Microsoft アカウントが必要ですが、アカウントは後で設定できます。
- 複数の PC をお使いの場合、設定は同期されません。

🔄 Microsoft アカウント(M) ローカル アカウント(L)

Windows 8.1 が起動します。



13. 「7. Starter Pack の適用」を参照し、Starter Pack を適用します。
14. 「8. デバイスドライバーのセットアップ」を参照し、ドライバーのインストールと詳細設定をします。
15. 「9. ライセンス認証の手続き」を参照し、ライセンス認証済みか確認してください。
16. 「10. 障害処理のためのセットアップ」を参照し、セットアップをします。

以上で、新規インストールは完了です。

6. Windows 8 から Windows 8.1 へのアップデート

6.1 アップデートの準備

Windows 8 から Windows 8.1 へアップデートするときは、Windows 8.1 をインストール前にここで説明する内容について確認してください。



必ず管理者権限のあるユーザーでログオンまたはサインインした状態で行ってください。

6.1.1 アプリケーション

各種アプリケーションのアンインストールが必要な場合はそれぞれのインストレーションガイド(手順書)などを参照し、アンインストールしてください。

6.1.2 オプション グラフィックスアクセラレータドライバ

(1) nVIDIA 製品の場合

1. <Windows>キーを押しながら<X>キーを押し、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックします。
2. コントロールパネルが表示されたら、[プログラムのアンインストール]をクリックします。(表示方法がアイコンの場合は[プログラムと機能]をクリックします。)
3. [NVIDIA グラフィックスドライバ(ドライバのバージョン)]をダブルクリックします。
4. 「このソフトウェアを削除してよろしいですか？」と表示されたら、[アンインストール]をクリックします。アンインストールが開始されます。
5. 「NVIDIA アンインストーラーが終了しました」と表示されたら[今すぐ再起動する]をクリックし、システムを再起動します。
6. 再起動後、手順 1~2 を行います。
7. 「NVIDIA HD オーディオドライバ (ドライバのバージョン)」をダブルクリックします。
8. 「このソフトウェアを削除してよろしいですか？」と表示されたら「アンインストール」をクリックしてアンインストールが開始されます。
9. 「NVIDIA アンインストーラーが終了しました」と表示されたら[今すぐ再起動する]をクリックしてシステムの再起動してください。

(2) AMD 製品の場合

1. <Windows>キーを押しながら<X>キーを押し、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックします。
2. コントロールパネルが表示されたら、[プログラムのアンインストール]をクリックします。

3. [AMD Catalyst Install Manager]をダブルクリックします。
4. 「AMD Catalyst Install Manager」が表示されますので[次へ]をクリックします。
5. 「すべての AMD ソフトウェアの高速アンインストール」を選択し、[次へ]をクリックします。
6. その後の画面では、すべて[OK] または [次へ] を選択してください。
7. 「プログラムの削除」と表記された画面が表示されたら、[削除]をクリックします。
8. 「InstallShield ウィザードが完了しました」と表示されたら、[完了]をクリックします。
9. 「設定を変更するには再起動しますか」と表示されたら、[はい]をクリックしシステムを再起動してください。

6.2 Windows 8 から Windows 8.1 へのアップデート手順



Windows 8 から Windows 8.1 へアップデートする前に、「4. インストール前の確認事項」を参照してください。

Microsoft 社の Web ページを参照し、Windows 8 から Windows 8.1 へアップデートしてください。
<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-8/update-from-windows-8-tutorial>

Windows 8.1 へのアップデート完了後、下記の手順に従ってください。

1. 「6.3 Starter Pack 適用前の準備」を参照し、必要に応じてドライバーをアンインストールします。
2. 「7. Starter Pack の適用」を参照し、Starter Pack を適用します。
3. 「8. デバイスドライバーのセットアップ」を参照し、ドライバーのインストールと詳細設定をします。
4. 「9. ライセンス認証の手続き」を参照し、ライセンス認証済みか確認してください。
5. 「10. 障害処理のためのセットアップ」を参照し、セットアップをします。

以上で、Windows 8 から Windows 8.1 へのアップデートは完了です。

6.3 Starter Pack 適用前の準備

Windows 8 から Windows 8.1 へアップデートをしたときは、Starter Pack の適用を始める前にここで説明する内容について確認し、ドライバーをアンインストールしてください。



必ず管理者権限のあるユーザーでログオンまたはサインインした状態で行ってください。

6.3.1 MEI ドライバー（バージョン 8.1.10.1275）

1. <Windows>キーを押しながら<X>キーを押し、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックします。
2. コントロールパネルが表示されたら、[プログラムのアンインストール]をクリックします。
(表示方法がアイコンの場合は[プログラムと機能]をクリックします。)
3. 画面右側に表示された一覧から「インテル(R) マネージメント・エンジン コンポーネント」をクリックし、[アンインストール]をクリックします。
4. 「インテル(R) インストール フレームワーク」が表示されたら、[次へ]をクリックします。
アンインストールが開始されます。
5. 「「次へ」をクリックして続行してください」が表示されたら、[次へ]をクリックします。
6. 「アンインストール完了」が表示されたら、[完了]をクリックします。
7. 「インテル(R) インストール フレームワーク」の表示が消えたら、システムを再起動してください。

6.3.2 オプション グラフィックスアクセラレータドライバー

(1) nVIDIA 製品の場合

Windows8.1 にアップデート後、グラフィックスドライバーがインストールされている場合があります。グラフィックスドライバーがインストールされていたときは、Starter Pack 適用前にアンインストールしてください。

アンインストール方法は「6.1.2 オプション グラフィックスアクセラレータドライバー」の「(1) nVIDIA 製品の場合」を参照してください。

6.3.3 サウンドドライバ (バージョン 6.0.1.6675)

1. <Windows>キーを押しながら<X>キーを押し、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックします。
2. コントロールパネルが表示されたら、「プログラムのアンインストール」をクリックします。
(表示方法がアイコンの場合は「プログラムと機能」をクリックします。)
3. 画面右側に表示された一覧から「Realtek High Definition Audio Driver」をクリックし、「アンインストールと変更」をクリックします。
4. 「Do you want to remove the Realtek HD Audio driver ?」と表示されたら、[はい]をクリックします。アンインストールが開始します。
5. 「You must restart your computer before the new settings will take effect.
Do you want to restart your computer now ?」と表示されたら、[はい]をクリックし、システムを再起動してください。

7. Starter Pack の適用

Starter Pack には本製品向けにカスタマイズされたドライバーなどが含まれています。

システム運用前に、対象モデル専用の Windows 8.1 対応差分モジュール(Starter Pack) を適用してください。対象モデル以外では使用できません。

また、Windows 8 向けの Starter Pack は使用できません。

Starter Pack をダウンロードしていない場合は、「3.4 差分モジュール(Starter Pack)のダウンロード」を参照してください。



次の場合も必ず「Starter Pack」を適用してください。

- ハードウェア構成を変更した場合
(内蔵オプションの取り付け/取り外しをしたときは、Starter Pack を適用してください。ハードウェア構成を変更したあとに再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、メッセージの指示に従って再起動し、Starter Pack を適用してください。)
- 修復プロセスを使用してシステムをリストアした場合
- バックアップツールを使用してシステムをリストアした場合



Starter Pack を適用すると、Scalable Networking Pack (SNP) 機能は「無効」に設定されます。SNP 機能を有効にするときは、下記サイトを確認したうえで設定してください。

<http://support.express-nec.co.jp/care/techinfo/snp.html>

1. 管理者権限のあるアカウントで、本機にインストール済みの Windows ヘサインインします。
Starter Pack を DVD にコピーして使用する場合は、光ディスクドライブにセットします。
2. チャームから[検索]をクリックします。
(または、画面の左下隅を右クリックして表示されるメニューより、[ファイル名を指定して実行]をクリックします。)



【[検索]の画面】

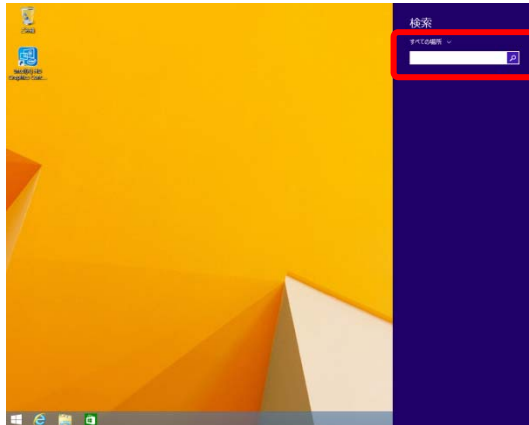


【[ファイル名を指定して実行]選択画面】

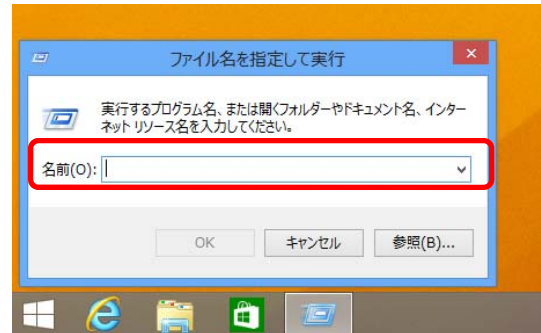
3. 以下を入力し<Enter>キーを押します。

<ドライブレター>:¥winnt¥bin¥pkgsetup.vbs

このとき指定するパスは2バイト文字や空白文字(スペース)を、フォルダー名などに入力しないでください。



【[検索]の画面】



【[ファイル名を指定して実行]の画面】



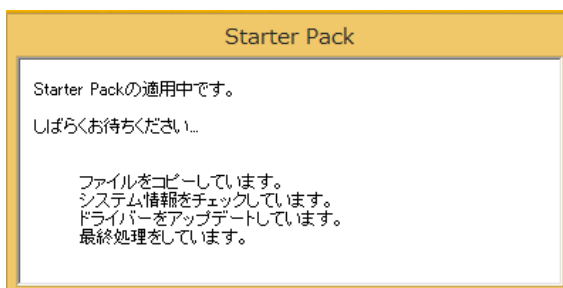
例えば D ドライブの temp フォルダーに Starter Pack があるとき、
「D:¥temp¥winnt¥bin¥pkgsetup.vbs」と入力し、<Enter>キーを押します。

4. プログラム名、確認済みの発行元を確認し、[はい]をクリックします。



Starter Pack 適用中は、次の進捗メッセージが表示されます。

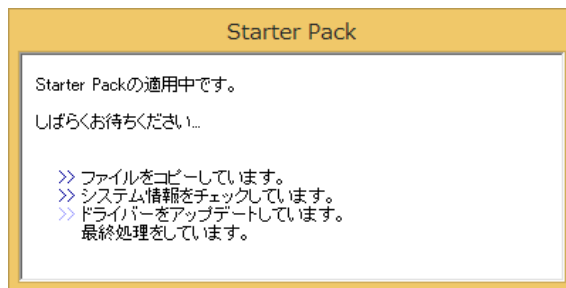
ファイルのコピーが完了するまで、しばらくお待ちください(1~3分程度)。



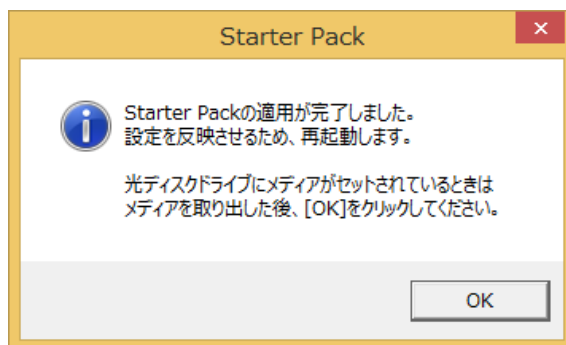
5. メッセージの内容を確認し、[OK]をクリックします。
「Starter Pack」が適用されます。



Starter Pack 適用中は、次の進捗メッセージが表示されます。途中、画面がちらついたりすることがありますが、適用が完了するまでしばらくお待ちください。



6. Starter Pack の適用が完了すると、次のメッセージが表示されます。



7. [OK]をクリックし、再起動します。

以上で、Starter Pack の適用は完了です。

8. デバイスドライバーのセットアップ

必要に応じて各デバイスに対するドライバーのセットアップを行います。

ここで記載されていないドライバーのインストールやセットアップについては、ドライバーに添付の説明書を参照してください。

8.1 LAN ドライバーのインストール

8.1.1 LAN ドライバーについて

Starter Pack を適用することで、LAN ドライバーがインストールされます。

システムの修復や再セットアップの際は、Starter Pack を適用して下さい。



- ネットワークアダプターのチーミング機能はサポートしていません。
- [ネットワーク接続]画面で標準装備のネットワークアダプター(I217-LM)が無効の状態になる場合がありますが、ネットワーク通信上の問題はありません。



- LAN ドライバーに関する操作は、本機に接続されたコンソールから管理者 (Administrator など)権限でサインインした状態で実施してください。OS のリモートデスクトップ機能、または、その他の遠隔操作ツールを使用しての作業はサポートしていません。
- IP アドレスを設定する場合、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のチェックボックスが外れているときは、チェックを付けてから IP アドレスの設定をしてください。

8.1.2 オプションの LAN ボード

本機に対応しているオプションの LAN ボードは下記になります。

オプションの LAN ボード : N8004-1001/1002

N8004-1001/1002 の LAN ドライバーは、LAN ボードを本機に搭載後、OS のプラグアンドプレイ機能により自動的に適用されます。

8.1.3 ネットワークアダプター名

LAN ドライバー適用後、デバイスマネージャーで表示されるネットワークアダプター名は下記のようになります。

- 標準装備のネットワークアダプター
Intel(R) Ethernet Connection I217-LM
Intel(R) I210 Gigabit Network Connection ※Express5800/53Xi, Y53Xi のみ
- オプション LAN ボード
[N8004-1001] Intel(R) Ethernet Server Adapter I210-T1 #xx(※1)
[N8004-1002] Intel(R) Ethernet Server Adapter I350-T2 #xx(※1)

※1 同一名のネットワークアダプターがある場合は、xx の箇所に識別の番号が割り振られます。

8.2 LAN ドライバーのセットアップ

8.2.1 リンク速度の設定

ネットワークアダプターの転送速度とデュプレックスモードは、接続先スイッチングハブの設定と同じにする必要があります。以下の手順を参照し、転送速度とデュプレックスモードを設定してください。

1. [デバイスマネージャー]を起動します。
2. [ネットワークアダプター]を展開し、設定するネットワークアダプターをダブルクリックしてプロパティを表示します。
3. [詳細設定]タブを選択し、[速度とデュプレックス]をスイッチングハブの設定値と同じ値に設定します。
4. [OK]をクリックしてプロパティを閉じます。
5. システムを再起動します。

8.2.2 Wake On LAN の設定

Wake On LAN を設定するときは、以下の手順に従ってください。



Wake On LAN は標準のネットワークアダプターのみサポートしています。



設定は手動で設定し直さない限り保持されます。

1. [コントロールパネル]から[システムとセキュリティ]—[電源オプション]—[電源ボタンの動作の選択]へ進みます。
2. [システム設定]—[シャットダウン設定]—[高速スタートアップを有効にする]をオフにします。



[高速スタートアップを有効にする]が表示されていない場合は、高速スタートアップはオフに設定されています。

3. [デバイスマネージャー]を起動します。
4. [ネットワークアダプター]を展開し、設定するネットワークアダプターをダブルクリックしてプロパティを表示します。
5. [詳細設定]タブを選択し、[PME をオンにする]の値が「オフ」の場合は「オン」に設定します。
6. [OK]をクリックし、再起動します。

以上で完了です。

8.3 オプション グラフィックスアクセラレータドライバー

オプションのグラフィックスアクセラレータボードのグラフィックスドライバーを『NEC コーポレートサイト』<http://jpn.nec.com/> よりダウンロードして、グラフィックスドライバーをインストールしてください。

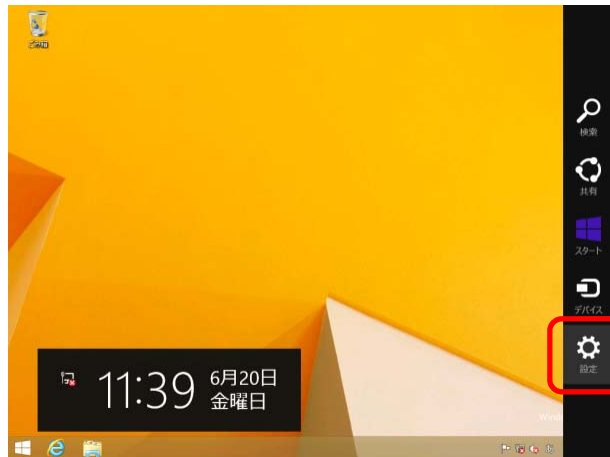
8.4 サウンドドライバー

標準装備のサウンドドライバーは、Starter Pack を適用するとインストールされます。
システムの修復や再セットアップの際は、Starter Pack を適用してください。

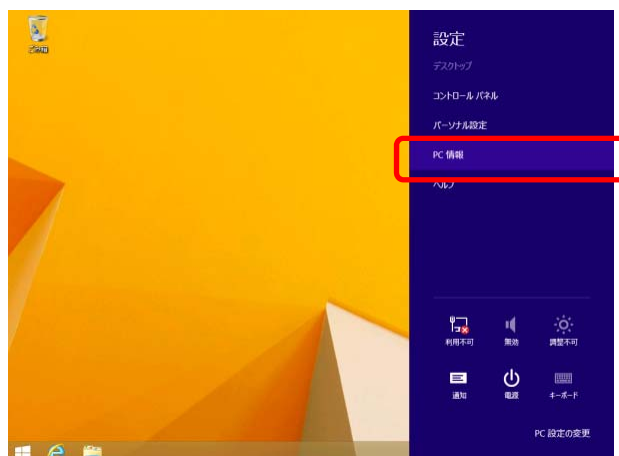
9. ライセンス認証の手続き

Windows 8.1 を使用するにはライセンス認証が必要です。必ず認証の手続きを行ってください。
次の手順でライセンス認証済みかを確認します。

1. チャームから[設定]をクリックします。



2. [PC 情報]をクリックします。



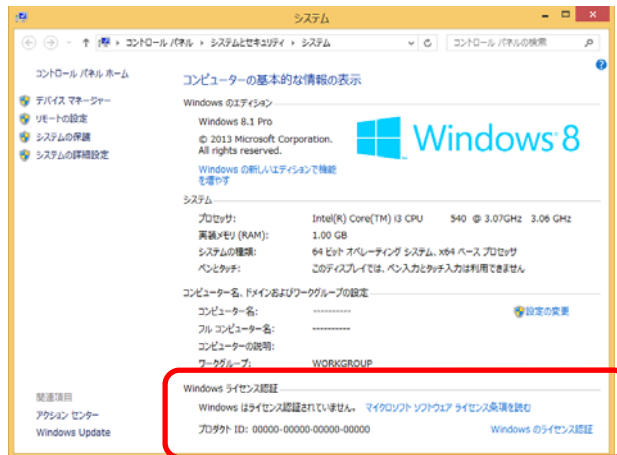
3. Windows ライセンス認証を確認します。

「Windows はライセンス認証されています。」と表示される場合：

→ 手続きの必要はありません。

「Windows はライセンス認証されていません。」と表示される場合：

→ 手順 4 へ



4. [Windows のライセンス認証]をクリックします。



5. 次の内容を確認し、ライセンス認証の手続きを行います。



以上で、ライセンス認証の手続きは完了です。

10. 障害処理のためのセットアップ

問題が起きたとき、より早く、確実に復旧できるように、あらかじめ次のようなセットアップをしてください。

10.1 メモリダンプ(デバッグ情報)の設定

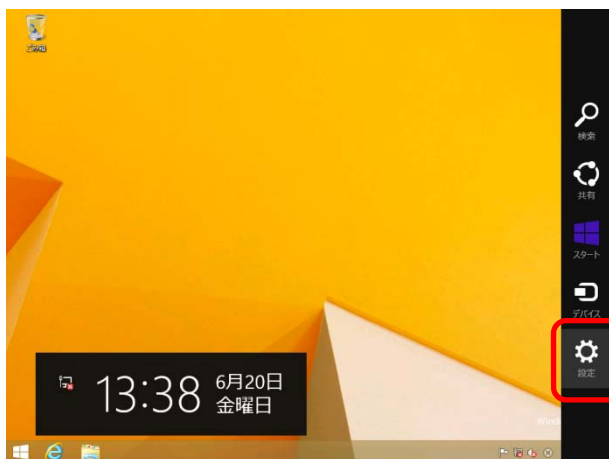
メモリダンプ(デバッグ情報)を採取するための設定です。



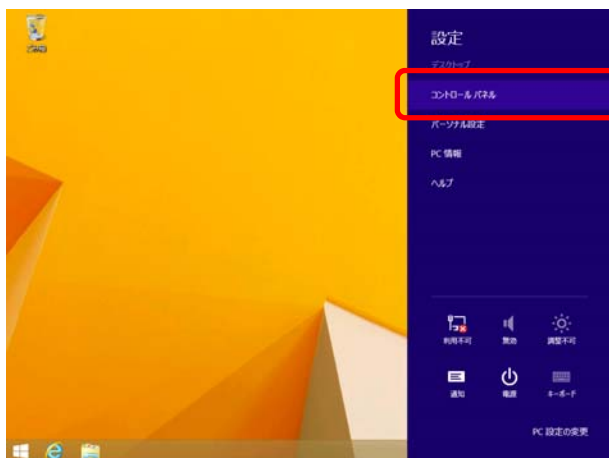
- メモリダンプの採取は保守サービス会社の保守員が行います。お客様はメモリダンプの設定のみを行ってください。
- メモリダンプを保存するために再起動すると、起動時に、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがあります。この場合、そのまま起動してください。リセットや再起動すると、メモリダンプを正しく保存できない場合があります。

次の手順に従って設定します。

1. チャームから[設定]をクリックします。



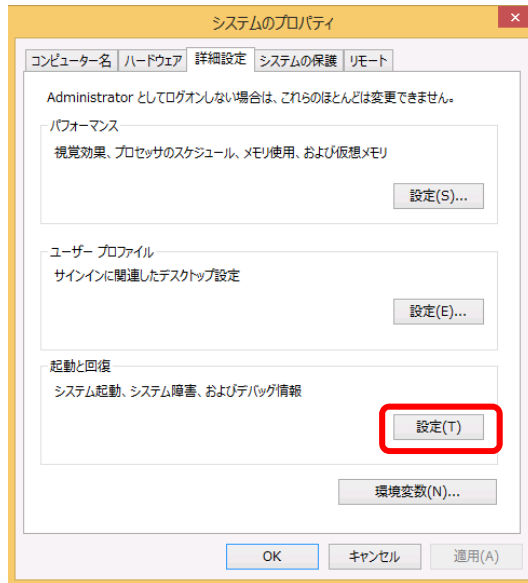
2. [コントロールパネル]をクリックします。



3. [システムの詳細設定]をクリックします。

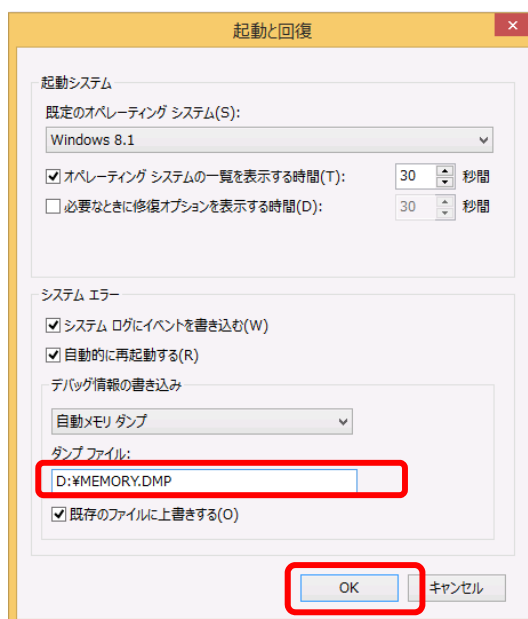


4. [起動と回復]の[設定]をクリックします。



5. [ダンプファイル]にダンプファイルのパスを入力し、[OK]をクリックします。

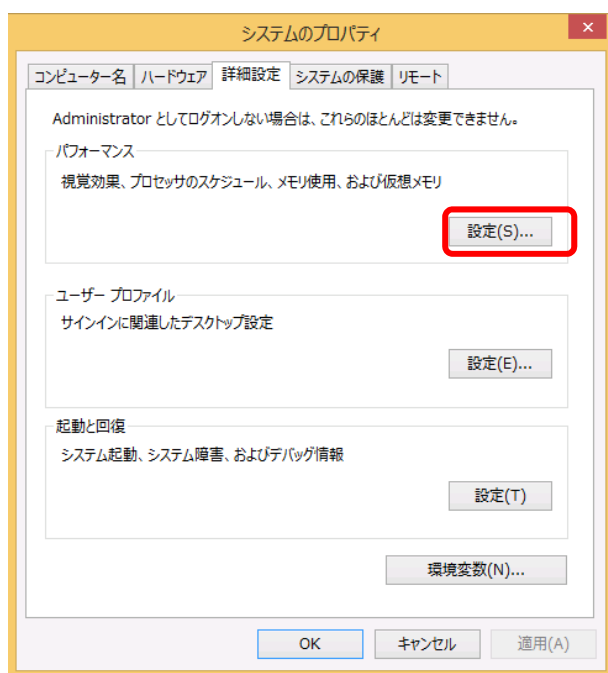
<D ドライブに「MEMORY.DMP」というファイル名で書き込む場合>



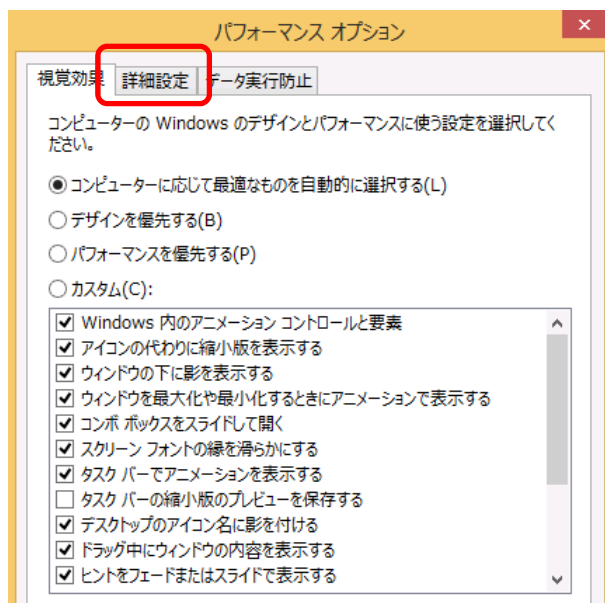
ダンプファイルは、以下に注意して設定してください。

- 「デバッグ情報の書き込み」は[カーネルメモリダンプ]を指定することを推奨します。
- 搭載しているメモリサイズ+400MB 以上の空き容量のあるドライブを指定してください。
- ワークグループ環境の場合は、25GB 以上の空き容量があるドライブを指定してください。
- メモリを増設すると、採取されるデバッグ情報(メモリダンプ)のサイズが変わります。増設時は、ダンプファイルの書き込み先の空き容量も確認してください。

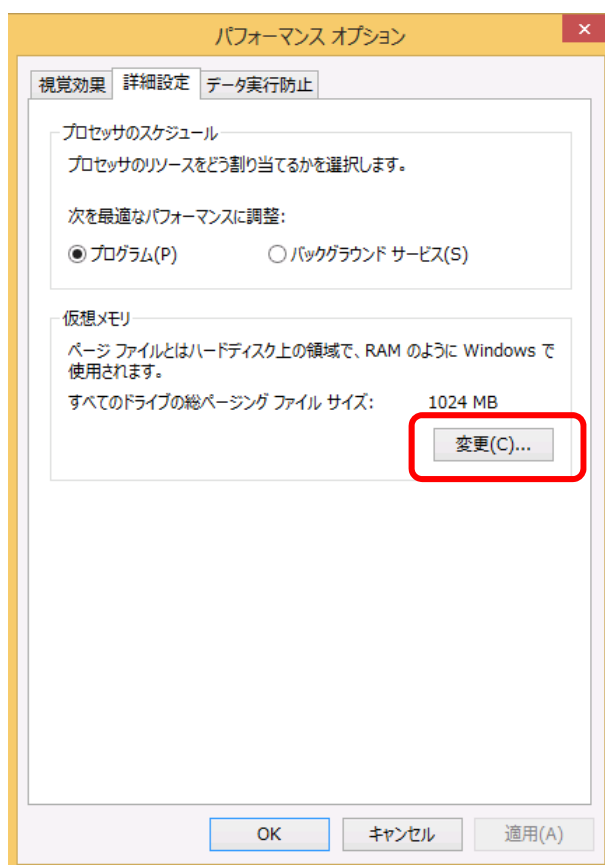
6. [パフォーマンス]の[設定]をクリックします。
[パフォーマンスオプション]ウィンドウが表示されます。



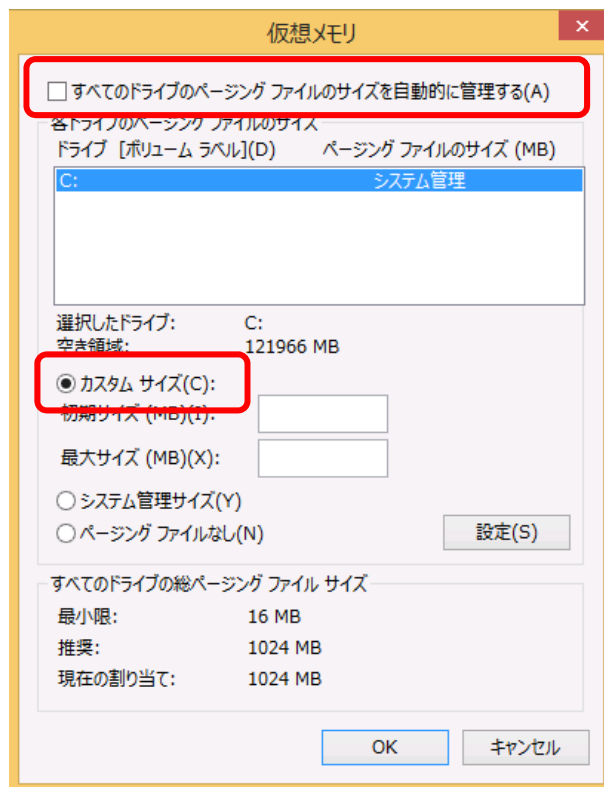
7. [詳細設定]タブをクリックします。



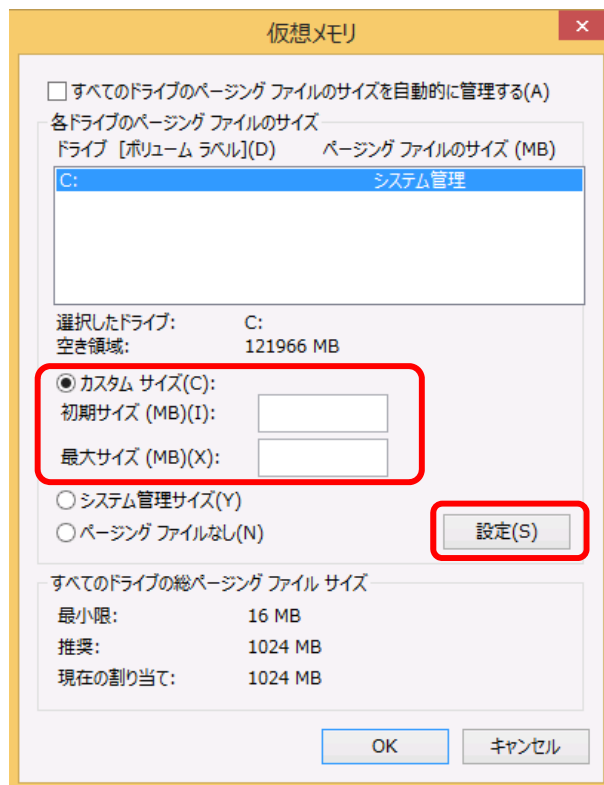
8. [仮想メモリ]の[変更]をクリックします。



9. [すべてのドライブのページングファイルのサイズを自動的に管理する]のチェックを外し、
[カスタムサイズ]を選択します。



10. [各ドライブのページングファイルのサイズ]の[初期サイズ]を推奨値以上に、[最大サイズ]を
[初期サイズ]以上に変更し、[設定]をクリックします。



ページングファイルは、以下に注意して設定してください。

- ページングファイルはデバッグ情報(ダンプファイル)採取のために利用されます。ブートボリュームには、ダンプファイルを格納するのに十分な大きさの初期サイズ(搭載物理メモリサイズ + 400MB 以上)を持つページングファイルが必要です。また、ページングファイルが不足すると仮想メモリ不足により正確なデバッグ情報を採取できない場合があるため、システム全体で十分なページングファイルサイズ(搭載物理メモリサイズ × 1.5 以上を推奨します)を設定してください。
- 「推奨値」については、「インストール前の確認事項」の「システムパーティションのサイズ」を参照してください。
- メモリを増設したときは、メモリサイズに合わせてページングファイルを再設定してください。

11. [OK]をクリックします。

変更内容によっては Windows を再起動するようメッセージが表示されます。

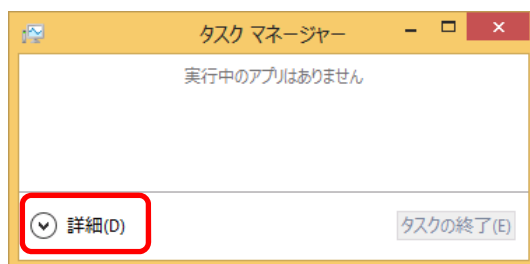
メッセージに従って再起動してください。

以上で完了です。

10.2 ユーザーモードプロセスダンプの取得方法

ユーザーモードプロセスダンプは、アプリケーションエラー発生時の情報を記録したファイルです。アプリケーションエラーが発生したときは、エラーのポップアップを終了させずに、以下の方法にてユーザーモードプロセスダンプを取得してください。

1. 画面の左下隅を右クリックして[タスクマネージャー]をクリックするか、<Ctrl> + <Shift> + <Esc>キーを押して、タスクマネージャーを起動します。
2. [詳細]をクリックします。

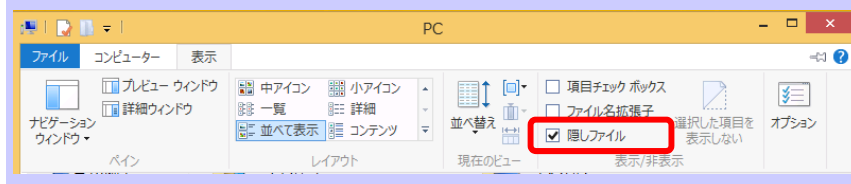


3. [プロセス]タブをクリックします。
4. ダンプを取得するプロセス名を右クリックし、[ダンプファイルの作成]をクリックします。
5. 次のフォルダーにダンプファイルが作成されます。

C:\¥Users¥(ユーザー名)¥AppData¥Local¥Temp



フォルダーが表示されないときは、エクスプローラーの[表示]から[隠しファイル]をチェックしてください。



以上で完了です。

11. Windows システムの修復

何らかの原因で Windows が起動できなくなったときは、OS インストールメディアの機能を使って修復することができます。

OS インストールメディアから起動し、Windows のセットアップウィザードの「コンピューターを修復する」を選択してください。この方法は、詳しい知識のあるユーザーや管理者のもとで実施してください。



チェック

- 修復後、「デバイスドライバーのセットアップ」および「Starter Pack の適用」を参照し、各種ドライバーおよび Starter Pack を適用してください。
- ハードディスクドライブが認識できないときは、Windows システムの修復はできません。

12. トラブルシューティング

本機が思うように動作しないときは、修理に出す前にお手持ちのドキュメントを参照し、本機をチェックしてください。リストに該当するような項目があるときは、記載の対処方法を試してみてください。

13. Windows イベントログ一覧

OS

■ ログ

| ID | ソース | 種類 | メッセージ (説明) |
|----|-------------------|----|------------|
| | イベントログが登録されるタイミング | | 対応 |

■ システムログ

| | | | |
|----|-----------------------------------|-----|--|
| 4 | HECI x64 | 警告 | The Intel(R) Management Engine Interface is being disabled. |
| | Starter Pack適用時 | | <p>ID4 が登録された後、以下のイベントログが登録されていれば問題ありません。</p> <p>ログの名前 : System ソース : HECIx64 イベント ID : 2 レベル : 情報 説明 : Intel(R) Management Engine Interface driver has started successfully.</p> |
| 14 | nvlddmkm | エラー | <p>ソース"nvlddmkm"からのイベント ID14 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピューターにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカルコンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。</p> <p>イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。</p> <p>イベントには次の情報が含まれています: CMDre 00000000 00000080 00000000 00000005 00000005.</p> |
| | UEFI環境時 | | 継続して同じイベントログが登録されていない場合は、動作上問題ありません。 |
| 27 | e1cexpress | 警告 | Intel(R) 82579LM Gigabit Network Connection ネットワークリンクが切断されました。 |
| | システム起動時、Starter Pack適用時 | | システム起動時または Starter Pack 適用時に記録されたときは、システム動作上問題はありません。 |
| 27 | e1iexpress | 警告 | Intel(R) xxxxx Gigabit Network Connection Network link is disconnected. |
| | OSインストール時、OS初回起動時、Starter Pack適用時 | | OS インストール時、OS 初回起動時または Starter Pack 適用中に登録される場合は、問題ありません。 |
| 27 | e1repress | 警告 | <p>Intel(R) Ethernet Server Adapter I210-T1 #xx(Intel(R) Ethernet Server Adapter I210-T1 #xx, Intel(R) Ethernet Server Adapter I350-T2 #xx) ネットワークリンクが切断されました。 ※Intel(R) I210 Gigabit Network Connection は、Express5800/53Xi, Y53Xi のみ</p> |
| | システム起動時、Starter Pack適用時 | | システム起動時または Starter Pack 適用時に記録されたときは、システム動作上問題はありません。 |

| | | | |
|------|--------------------------------|-----|---|
| 46 | volmgr | エラー | クラッシュダンプを初期化できませんでした。 |
| | OSインストール時 | | 詳細については次の Microsoft 社の Web サイトを参照してください。 http://support.microsoft.com/kb/2756313 |
| 134 | Microsoft-Windows-Time-Service | 警告 | 'time.windows.com,0x9'での DNS 解決エラーのため、NtpClient でタイムソースとして使う手動ピアを設定できませんでした。15 分後に再試行し、それ以降は 2 倍の間隔で再試行します。エラー:そのようなホストは不明です。(0x80072AF9) |
| | OSインストール時、システム運用時 | | インターネット接続後に登録されていない場合は、システム運用上問題ありません。 |
| 1500 | SNMP | エラー | レジストリ キー SYSTEM\CurrentControlSet\Services\SNMP\Parameters\TrapConfiguration をアクセスしているときに SNMP サービスはエラーを検出しました。 |
| | OS インストール時 | | 詳細については次の Microsoft 社の Web サイトを参照してください。 http://support.microsoft.com/kb/2002303 |
| 3095 | NETLOGON | エラー | このコンピューターはワークグループのメンバーとして構成されており、ドメインのメンバーとしては構成されていません。この構成で Netlogon サービスを実行する必要はありません。 |
| | OS インストール時 | | ドメイン参加後に登録されていない場合は、システム運用上問題ありません。 |
| 7023 | Service Control Manager | エラー | Network List Service サービスは、次のエラーで終了しました: デバイスの準備ができていません。 |
| | OSインストール時 | | OS インストール時のみに登録され、継続して同じイベントログが登録されていない場合は、問題ありません。 |
| 7023 | Service Control Manager | エラー | IP Helper サービスは、次のエラーで終了しました: 指定されたサービスは無効であるか、または有効なデバイスが関連付けられていないため、開始できません。 |
| | OSインストール時 | | OS インストール時のみに登録され、継続して同じイベントログが登録されていない場合は、問題ありません。 |
| 7024 | Service Control Manager | エラー | Background Intelligent Transfer Service サービスは、次のサービス固有エラーで終了しました: サーバーの実行に失敗しました |
| | OS インストール時 | | OS インストール時のみに登録され、継続して同じイベントログが登録されていない場合は、問題ありません。 |
| 7024 | Service Control Manager | エラー | BranchCache サービスは、次のサービス固有エラーで終了しました: このプログラムはグループ ポリシーによりブロックされています。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。 |
| | OS インストール時 | | OS インストール時のみに登録され、継続して同じイベントログが登録されていない場合は、問題ありません。 |
| 7030 | Service Control Manager | エラー | 'Printer Extensions and Notifications' サービスは、対話型サービスとしてマークされています。しかし、システムは対話型サービスを許可しないように構成されています。このサービスは正常に機能しない可能性があります。 |
| | OSインストール時 | | OS インストール時のみに登録され、継続して同じイベントログが登録されていない場合は、問題ありません。 |

| | | | |
|-------|----------------------------------|-----|---|
| 10010 | Microsoft-Windows-DistributedCOM | エラー | サーバー{A47979D2-C419-11D9-A5B4-001185AD2B89}は、必要なタイムアウト期間内に DCOM に登録しませんでした。 |
| | OSインストール時、システム運用時 | | 詳細については次の Microsoft 社の Web サイトを参照してください。 http://support.microsoft.com/kb/956479/ja |
| 16392 | Microsoft-Windows-Bits-Client | エラー | BITS サービスを開始できませんでした。エラー 0x80080005。 |
| | OS インストール時 | | OS インストール時のみに登録され、継続して同じイベントログが登録されていなければ、問題ありません。 |

■ アプリケーションログ

| | | | |
|------|---|----|--|
| 63 | Microsoft-Windows-WMI | 警告 | プロバイダーIntelMEProv は LocalSystem アカウントを使うために Windows Management Instrumentation 名前空間 root\Intel_ME に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダーがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。 |
| | Starter Pack適用時 | | システム運用上問題ありません。 |
| 614 | ESENT | 警告 | taskhostx (1424) WebCacheLocal: データベース 'C:\Users\%<ユーザー名>\AppData\Local\Microsoft\Windows\WebCache\WebCacheV01.dat': テーブル 'Containers' のセカンダリ インデックス 'PartitionIdIndex' は壊れている可能性があります。インデックスの再構築を示すイベントが後にはない場合は、インデックスを再構築するためにデータベースを最適化してください。 |
| | OS インストール時 | | 詳細については次の Microsoft 社の Web サイトを参照してください。 http://support.microsoft.com/kb/842462 |
| 1008 | Microsoft-Windows-Search | 警告 | Windows Search サービスが開始し、古い検索インデックスを削除しようとしています{理由:インデックスの完全リセット}。 |
| | OSインストール時、システム運用時 | | このイベントログが頻繁に発生している状況でない限り、システムの運用上問題ありません。 |
| 1014 | Microsoft-Windows-Security-SPP | 警告 | エンド ユーザー ライセンスを取得できませんでした。 hr=0x80072EE7 |
| | OSインストール時 | | ライセンス認証完了後、継続して同じイベントログが登録されていなければ、問題ありません。 |
| 1058 | Microsoft-Windows-Security-SPP | 警告 | 購入の証明を ACPI テーブルからインストールできませんでした。 エラー コード:0xC004F057 |
| | OSインストール時、システム運用時 | | 登録されてもライセンス認証が完了している場合は運用上問題ありません。 |
| 1530 | Microsoft-Windows-User Profiles Service | 警告 | レジストリファイルは他のアプリケーションまたはサービスで使用されています。ファイルはすぐにアンロードされます。レジストリファイルを保持しているアプリケーションまたはサービスはこれ以降正しく機能しない可能性があります |
| | OSインストール時、Starter Pack適用時 | | Windows のサインインが出来ないなどの影響がない限り、システム運用上問題ありません。 |

| | | | |
|------|---|-----|--|
| 1534 | Microsoft-Windows-User Profiles Service | 警告 | コンポーネント {2c86c843-77ae-4284-9722-27d65366543c} のイベント Create のプロファイル通知は失敗しました。 エラー コードは 実装されていません。 |
| | OSインストール時 | | システム運用上問題ありません。 |
| 3036 | Microsoft-Windows-Search | 警告 | コンテンツ ソース <winrt://S-1-5-21-3176170260-3211812699-2998917039-1001/> で クロールを完了できませんでした。 |
| | OS インストール時 | | このイベントログが登録された後、Windows Search サービスが開始されていれば問題ありません。 |
| 4879 | Microsoft-Windows-MSDTC Client 2 | 警告 | MSDTC では、'xxxx' との安全な接続の確立中にエラー (HR=0x80000171) が発生しました。 |
| | OS インストール時 | | OS インストール時のみに登録され、継続して同じイベントログが登録されていなければ、問題ありません。 |
| 6005 | Microsoft-Windows-Winlogon | 警告 | winlogon 通知サブスクリバ<AUInstallAgent>による通知イベント (StartShell)の処理に長い時間がかかっています。 |
| | OSインストール時、システム運用時 | | このイベントログが頻繁に発生している状況でない限り、システムの運用上問題ありません。 |
| 6006 | Microsoft-Windows-Winlogon | 警告 | winlogon 通知サブスクリバ<AUInstallAgent>で通知イベント (StartShell)の処理に 88 秒かかりました。 |
| | OSインストール時、システム運用時 | | このイベントログが頻繁に発生している状況でない限り、システムの運用上問題ありません。 |
| 8198 | Microsoft-Windows-Security-SPP | エラー | ライセンス認証(slui.exe)が失敗しました。エラー コード: hr=0x80070057 |
| | OSインストール時、システム運用時 | | ライセンス認証後に登録されていなければ、システム運用上問題ありません。詳細については次の Microsoft 社の Web サイトを参照してください。 http://support.microsoft.com/kb/921471/ja |
| 8200 | Microsoft-Windows-Security-SPP | エラー | ライセンス取得の失敗に関する詳細。 hr=0x80072EE7 |
| | OSインストール時 | | ライセンス認証後に登録されていなければ、システム運用上問題ありません。 |
| 9020 | Desktop Window Manager | エラー | デスクトップ ウィンドウ マネージャーで致命的なエラー (0x8898008d) が発生しました |
| | OS インストール時 | | グラフィックスアクセラレータ ドライバーのセットアップ後、継続して同じイベントログが登録されていなければ、問題ありません。 |

■ アプリケーションとサービスログ

| | | | |
|------|--------------------------------------|-----|---|
| 104 | Microsoft-Windows-DeviceSetupManager | エラー | DSM サービスを開始できませんでした。結果=0x800706B5 |
| | OSインストール時、システム運用時 | | OS インストール時のみに登録され、継続して同じイベントログが登録されていなければ、問題ありません。 |
| 123 | Microsoft-Windows-DeviceSetupManager | 警告 | デバイス 'STORAGE¥VOLUME¥{6BDDC28E-2855-11E4-BE65-806E6F6E6963} #000000E6D4A00000' でのドライバーのクエリ/ダウンロード/インストールで DSM サービスが 112 秒遅れました |
| | OS インストール時 | | OS インストール時のみに登録され、継続して同じイベントログが登録されていなければ、問題ありません。 |
| 123 | Microsoft-Windows-DeviceSetupManager | 警告 | デバイス 'PCI¥VEN_8086&DEV_041A&SUBSYS_80391BCF&REV_06¥3&1158 3659&0&10' でのドライバーのクエリ/ダウンロード/インストールで DSM サービスが 186 秒遅れました |
| | OS インストール時 | | OS インストール時のみに登録され、継続して同じイベントログが登録されていなければ、問題ありません。 |
| 200 | Microsoft-Windows-DeviceSetupManager | 警告 | Windows Update サービスへの接続を確立できませんでした。 |
| | OSインストール時、システム運用時 | | インターネット接続後に登録されていなければ、システム運用上問題ありません。 |
| 201 | Microsoft-Windows-DeviceSetupManager | 警告 | Windows Metadata and Internet Services (WMIS)への接続を確立できませんでした。 |
| | OSインストール時、システム運用時 | | インターネット接続後に登録されていなければ、システム運用上問題ありません。 |
| 202 | Microsoft-Windows-DeviceSetupManager | 警告 | ネットワークリストマネージャーは、インターネットに接続していないことをレポートしています。 |
| | システム運用中 | | インターネット接続後に登録されていなければ、システム運用上問題ありません。 |
| 215 | Microsoft-Windows-AppReadiness | 警告 | <ユーザー名> の 'ART:ResolveStoreCategories' が失敗しました。 エラー: 'ネットワークに到達できません。ネットワークのトラブルシューティングについては、Windows ヘルプを参照してください。' (0.2500247 秒) |
| | OSインストール時 | | OS インストール中に 1 回登録され、継続して登録されなければ問題ありません。 |
| 1001 | Microsoft-Windows-Dhcp-Client | エラー | ネットワークアドレスが<MAC アドレス>のネットワークカードに対するアドレスをネットワーク(DHCP サーバー)からこのコンピューターに割り当てることができませんでした。 次のエラーが発生しました: 0x79。 ネットワークアドレス(DHCP)サーバーから引き続き、アドレスの取得を試みます。 |
| | OSインストール時、Starter Pack適用時 | | 継続して発生していなければシステム運用上問題ありません。 |